

株式会社 小野組

DX宣言書

2026年3月30日
株式会社 小野組
代表取締役社長 小野 貴史

□ 経営理念

全従業員の物心両面の幸福を求め、善なる心で自然と社会に調和し、全ての人の進歩発展に貢献すること

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用した建設会社のパラダイムシフト
 1. ICT施工・3Dモデル・BIM・CIMを活用した業務効率化と省力化
 2. データ統合による業務標準化と新たな働き方の実現
 3. DXを基盤とした事業変革と新たな建設業の創出

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ~ 2027年2月)

戦略 「DX基盤の整備とプロジェクト体制の立ち上げ」

- 施策
- ・ ICT施工・3Dモデル・BIM・CIM・管理部門ITシステムなど主要デジタル技術の導入準備を進め、DX推進のためのプロジェクト体制を構築
 - ・ 紙ベースやPDFの図面・見積データ・3Dモデル等の基礎データを収集・整理し、蓄積・利活用を前提としたデータ管理ルールを整備
 - ・ 自動3D化データのチェックフローを確立し、設計・計画業務の精度を向上
 - ・ 部門横断の業務標準化に着手し、DX人材育成に向けた研修を開始

➤ フェーズ2(2027年3月 ~ 2029年2月)

戦略 「事業運営の自走化とデジタル活用の定着」

- 施策
- ・ ICT施工・3Dモデル・BIM・CIMを日常業務に定着させ、設計・営業・実績管理の省力化と効率化を実現
 - ・ データ蓄積体制を本格運用し、見積・設計・営業・修繕データベース(DB)の各プロセスでデータドリブンな意思決定を実施
 - ・ 完全リモート対応のワークフローを実装し、時間的・身体的制約のある地域人材の採用・活躍を推進
 - ・ 修繕事業DB化、PR活動高度化などデジタルを活用した営業モデルを構築し、事業を自走化

➤ フェーズ3(2029年3月 ~ 2031年2月)

戦略 「DX投資の回収と新たな建設領域の創出」

- 施策
- ・ DXを通じた生産性向上・省力化・営業力最大化の成果を事業収益として確立し、導入したDX投資を回収
 - ・ ICT施工・データ活用を核とした新たな建設業の形を創出し、修繕事業DB強化や新規サービス開発を展開
 - ・ 地域雇用の拡大やDX人材育成の深化を通じて、担い手不足などの社会課題の解決に継続的に貢献
 - ・ DXを基盤とした長期的な事業変革を完了させ、持続可能な事業モデルとして定着化

□ DX推進体制

- ・ DX推進における総括責任者として専務取締役を任命し、その指揮の下「DX戦略プロジェクト室」を設置します
- ・ 建築部門(ATG)・土木部門(CEG)・管理部門(MSG)にDX推進リーダーを配置し、部門ごとのDX施策の実行やデータ管理ルールの運用、業務改善を推進します

□ DX推進目標

- ・ 建設用3Dプリンターを活用した受注件数 : 年30件(~2031年2月)
- ・ 簡易3Dモデル作成システムを活用した受注件数 : 年50件(~2031年2月)